

別記様式(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第2回登米市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和6年1月17日(水) 18時 30分 開会 20時 00分 閉会
開 催 場 所	登米市役所南方庁舎 2階 大会議室
議 長 (委 員 長 又 は 会 長) の 氏 名	登米市特別支援教育連携協議会 委員長 千葉 道夫
出席者(委員)の氏名	登米市特別支援教育連携協議会 委員長 千葉 道夫 【会長】 認定こども園さくら幼稚園 園長 片岡 大助 【副会長】 豊里こども園保護者会 会長 佐々木 良 東和児童クラブ利用者 千葉 麻衣子 南方子育て支援センター利用者 小林 扶貴子 村上電業株式会社 代表取締役 村上 正弘 株式会社高田商店 及川 成美 子育てボランティアサークル「遊ぼう津山っ子」 須齋 香織 社会福祉法人恵泉会 常務理事 佐藤 吉春 登米地方保育所協議会 会長 小野寺 千香 民生委員児童委員協議会主任児童委員 部会長 河内 正治 ゆりかご保育所 所長 佐々木 浩子 以上 12名
欠席者(委員)の氏名	以上 0名
登 米 市 関 係 課 (事 務 局 職 員)	市民生活部 部長 佐々木 美智恵 " 次長兼福祉事務所長兼少子化対策推進監 武田 康博 福祉事務所子育て支援課 課長 伊藤 奈美 " 課長補佐兼児童福祉係長 志賀 健 " 課長補佐兼子ども保育係長 佐藤 祐一 " 課長補佐兼子育て支援係長 木川田 崇 " 技術主幹兼こども家庭支援係長 新妻 志保 " 子育て支援係 主査 板倉 明広 " " 主事 及川 早紀 " " 主事 佐藤 泰地
議 題	【議事】 (1) 第3期登米市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について
会 議 結 果	【議事】 (1) 第3期登米市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について → 原案のとおり承認
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	【事前送付資料】 資料1: 第3期登米市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について 資料2: 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査票(案) (就学前児童の保護者用) 資料3: 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査票(案) (小学生の保護者用) 資料4: 子ども・子育て支援事業(こどもの生活実態)に関する調査票(案) (高校生以下の保護者用)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
事務局	<p>【開会】</p> <p>皆様、本日はお忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>ただいまから令和5年度第2回登米市子ども・子育て会議を開会したいと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>本日の会議は、登米市審議会等の会議の公開に関する指針第五条第1項の規定に基づき、傍聴席を設けてございますことをお知らせいたします。</p> <p>開会にあたりまして、千葉会長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
会長	<p>「会長挨拶」</p>
事務局	<p>本会議につきましては、登米市子ども・子育て会議条例第5条第1項において、会長が議長となると規定しておりますので、この後の議事につきましては、千葉会長に、議長をお願いいたします。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>第三期登米市子供子育て支援事業計画の策定に係るニーズ調査についての実施について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>第二期計画概要版、当日配布資料①～③、資料1～4に基づき説明</p>
会長	<p>説明が終わりましたので、質疑を受けたいなと思います。</p> <p>ご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>1月下旬から調査票の配布、子ども・子育て会議への報告は、5月という予定になっていますけども、このアンケートについて、私たちは報告を受けるだけでしょうか。</p>
事務局	<p>今後、このアンケートの内容を集計、分析させていただきまして、第三期の計画を策定する際の基礎資料として使わせていただきます。</p> <p>その際に、第三期の計画を作成するにあたり、この会議でご審議いただきながら計画を策定したいと考えてございますので、委員の皆様にはアンケート結果をお示しいたしまして、その後第三期の計画策定までご意見等いただきながら策定をしていくといった流れで考えてございます。</p>
委員	<p>この計画を作るために今回ニーズ調査をされるんですね。</p> <p>例えば、こども家庭庁ができて、今、日本全国で関心持ってるのは「こども誰でも通園制度」っていう、そういう未就園の子どもたちが、親の都合で月、何時間か通いますよという制度があってそのアンケートの問いが入ってます。</p>

事務局	<p>そうすると、多分、ほとんどの人がね、そういう制度があれば使いたいと答えると思うが、登米市では、来年度は実施しないのか。</p> <p>令和6年度につきまして全国での試行的事業ということで、登米市では実施の予定はございませんが、国の方で令和8年度から本格実施ということで、見据えておりますので、そちらに向けて検討していくような状況になっております。</p> <p>参考として、県内で令和6年度からの試行的事業として実施する自治体につきましては1ヶ所、全国で約100ヶ所程度、令和6年度から試行的事業として実施する予定となっております。</p>
委員	<p>簡単にお話しますと、この調査件数がですね、1100件、1000件1200件なってますけど、本来、全対象者に、調査した場合はどれくらいになるんですか。その何%の方に今回の調査をするんですか。</p>
事務局	<p>アンケートの調査の母体、全体数でございますが、未就学児、0歳児から5歳児につきましては市内全体で2,338でございます。あと、小学生につきましては、1年生から4年生で2,097でございます。</p> <p>こちらの調査につきましては、これらの人数の全体の全員調査ではなくて、その中の一部を無作為に抽出した標本調査というような形で調査をさせていただくこととなります。</p> <p>その調査の表の数を割り出す計算式がございまして、先ほど申し上げた人数に、その計算式を当てはめまして、必要となる指標ですね、そちらの方の件数を算出してございます。</p> <p>そちらの数につきましては、未就学につきましては733人。あと小学生につきましては707人でございまして、それに回収率、が、全体が100%これはいいところなんですけども、7割程度でこれまでの回収の結果も踏まえまして、7割程度の回収を見込みまして、1100人、1000人、1200人というような調査対象とさせていただいてございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>やはり効率を考えた場合に、その無作為抽出ってのはすごく大切だと思います。</p> <p>あと何かご質問ありますか。</p>
委員	<p>7割の回収率というふうに、市の方では準備するわけですね。7割と結構ハードルは高いですけど、そうすると、大体、件数が50%ぐらいですよ調査件数。その中のこの7割ですよ。項目によって、やはり比率の高いのがあると思うんですけども、その辺の重要度、あとは緊急性であるとか、早期に手をつけるとか、そういうところはしっかり、やっていただきたいというふうに思います。</p> <p>本当に少子化は、書いてある通り、来年度は373人の予定です。本当に、今、私たち幼児教育に携わってるものは、危機感があります。</p>

事務局	<p>だから、子育てしているお母さんお父さん方にとって、良いと思われることは、やっぱりどういうことでもしたいと思っています。調査結果をぜひ生かしていただきたいし、私たちにも教えていただければというふうに思います。</p> <p>いろいろご質問、ご意見ありがとうございます。 今回のニーズ調査につきまして、確かに保護者の方々が今どういうふうにお考えになってるか、どういったことを要望されているのかという部分を押さえるための資料でございます。当然いろんな意見が出てくるかと思えます。 ただその中で、いただいた意見を全て考えられればいいんですが、その中でやはり優先順位をつけて重要度、そういったものを検討させていただきながら、登米市として、どういったことに取り組んでいかなければならないのか、そういった部分について、来年度に入りまして、皆様ともちょっとご意見の方いただきながら、計画の策定を進めて参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>すごく文章的なところで申し訳ないですけども、お子さんとは、宛名のお子さんのことを指しますって、表紙にあるんですが、資料4のところは中身の文章が、お子さんについてとあるんですけども、資料2、資料3が中でも宛名のお子さんって言っています。 表紙に、お子さんとは宛名のお子さんのことを指しますって言ってるのであれば、中身は宛名のって要らないのかなと思ったので、ここは資料4のようにしていただければと思いました。</p>
事務局	<p>表書きの必ずお読みくださいにありながら、更にまた中でも続けている意図としましては、調査対象の子どもにきょうだいがいる保護者の方が回答する場合、調査票の回答を進めていくうちに、設問数も多いため途中できょうだいの子どものについて回答してしまうなど、回答内容がきょうだいの子どもの内容と混ぜてしまうのではないかというところもございまして、会長おっしゃるとおり、ずっと繰り返しの表現になっております。 ただ、ここについて、資料4の方はこちらで「宛名の」っていうのを付け漏れていたため、必ずお読みくださいの方を抜く形にするのか、ご意見の通り中身の「宛名の」っていうところを全て取るのかというところを今一度検討させていただきたいと思えます。</p>
会長	<p>読んでて習い事と塾の違いが書いてあるが、混ぜてしまっているところもあると思う。例えば資料4の5ページの間14、習い事と塾であったり、ダンスが習い事で体操がスポーツに入っている。資料2の14ページ、問25が1～3年生、これが3番目習い事スポーツ少年団や学習塾などっていうんですね。 問26が4～6年生のところ3番のところ、塾も入ってます。同じスポーツ少年団や学習塾など、これを同じにしたらいいのではないかと思います。 資料2の20ページ、希望するものについてあるんですけども、2</p>

	<p>つちよっとお話したいと思います。</p> <p>まず、子どもたちの育ちや学びの支援というのは下からその他の上にあります。</p> <p>番号の18のところ、子どもが地域の祭りや行事などに参加する機会を増やすことってあるが、すごく大切だなと思うところがありました。</p> <p>前に、隈研吾さんが、登米の懐古館を作られたときに、完成記念講演をされたんですね。</p> <p>その時に隈研吾さんがおっしゃってたのが、コミュニティの強さはお祭りがあるか否かにあると。いうことを講演の中でお話をされておりました。</p> <p>確かにそうだなと思うところがあります。登米とかは秋祭りがあるので子どもたちはその練習に入っているの、継続してその町の伝統、町のイベントに大人も子どもも一緒になって参加できる。</p> <p>今のそういうお祭りってのは、地域の文化的な活動なんだっていうことをもっと強調していいと思います。</p> <p>そういうところに、今学校でも、総合的な学習の時間の活動として、打囃子の練習を学校の授業の中でやったりしているので、これはどんどん進めていただければなと思います。</p>
委員	<p>先ほど令和8年度から「こども誰でも通園制度」という話がありました。ちょっと前に、お父さんは働いてるけどお母さんは働いておらず、ちょっと家庭の中が荒れているといったことがありました。</p> <p>これが届いても書けないってなるような本当に大変な親御さんってもう結構いるので、何かそういう方も救えるような、っていうのが少しあればいいなと思いました。</p> <p>そういうところもいろいろ考えていただけたらなと思いました。</p>
委員	<p>もう少し簡単に、もう少し書きやすいように、何かこう難しいように書いてあるので、もし簡単なように書いてもらえれば、若いお母さんたちも書くのかなあとは、思ってたんですけど、家で見えてきたんですけども、見れば見るほど、だんだん難しくなってくるなというような感じなんで、もう少し簡単にしたいなと思いました。</p>
委員	<p>この調査に関しては、国の方針に沿ったということなんですけども、やっぱ国の方では、こういう示されたようなものっていうのがあるわけなんです。それに基づいた上で、市独自のものを加えるというようなもので、ある程度カスタマイズという内容でやっているっていうことなわけなんです。</p> <p>そして、次期、3期の計画の方に反映させるというようなことでよろしいんですかね。</p>

<p>会長</p>	<p>字数をなるべく少なくして、読ませる方法っていいですか、工夫といいですか、それがあるとちょっと違うかなとは思いました。普段聞き慣れた法律用語じゃなく、普段スッと入ってくるような、そういう言葉に置き換えるとか、そういうところをお願いしたいなと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>やっぱり皆さんおっしゃった通り、今、お母さんたちも、文章を読むのすごい苦手であって、面倒くさいとか、子どもも面倒くさいっていうのが多くなって、やっぱりせっかくアンケートを取るのに、結局こんな感じでいいのかなって感じになってしまうと思うんですね。それで生かされるのかどうかという疑問も出てくると思うので、やっぱりこう簡潔でわかりやすい方が良いと思います。あと、登米市の子どもたちへの支援などをより良くするための調査なんですよっていうことをアピールされるといいのかなって感じします。皆さんの力でやって少しでもいい工夫になっていったらいいなと思うので、よろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>私も、ちょっとアンケートを自分で実際こう当てはまるどころを書いたりしたんですけど、実際同じような質問、これさっきもこれ答えたのに、またおんなじあれ訳わかんなくなってきたな、ちょっと面倒くさいなって思っちゃう部分がありました。本当に簡潔に、もうちょっと単刀直入にもうちょっとやさしい言葉で、アンケートの設問を書いていただいて、最後に、ご意見がありましたらご自由にお書きくださいっていうところに、こういうのがあったらいいなこうして欲しいなっていうのを、じゃあ私も書いてみようって気持ちにさせてくれるのが一番かなと思ってますので、よろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>そうですね今、皆さんの方でご意見ありましたアンケートが記載しにくいんじゃないかっていうことなんですけど、先進の自治体さんで回収率ってどれぐらいになってるのが、普通なんですかね都市部と農村部と違うかもしれないんですけど。</p>
<p>事務局</p>	<p>先進の自治体だから、回収率が高いとかそういう傾向はあまり見られないかもしれませんが、回収率を高める方策としては幾つか、あるのかなとは感じてるんですけど、まず1つ保育園とか小学校から配布していただくというやり方だと思います。施設から来たアンケートであれば少しかこう答えて出さないってような、親御さんの気持ちになるのかなってところと、あと、今回も考えてるところで、Webでの回答など、その回答の方法を少し幅広くするというのを思っております。補足ですが、回収率で言いますと、前回も同じような、第二期のときも同じようなアンケートさせていただいたんですけど、前回未就学児の方の部分で、71%、71.5%ですね、小学生で76.9%という回収率でございました。</p>

委員	<p>私も皆さんと同じく資料2のところに該当するんですけども、1日仕事や家事をして、その後子供を何とか寝せ終わってからこの資料をちょっと見たときにですね眠くなってしまうと、最後までちょっと書けないかもしれないなと思ったんですけど、あとその中で1つ、11ページの子どもが病気にかかって仕事を休んだ日数まで教えてくださいというところの欄があるかと思うんですけど、国の必須事項だということでもっと資料を読ませていただいたんですけど正直、1年間の何日休んだかまでちょっと余りに子どもが体調崩すので把握できないので、書く際にこれをちょっと書くというのは大変なのかなと可能であれば削除してもらった方が、親御さんも少し負担が減るのかなと思いました。</p> <p>こういったアンケートのときって、自分も夏にちょっと、自治体のお祭りに行ったときにアンケートをもらったんですけど、お礼にちょっと粗品がありますなんて言われて一生懸命アンケート書いたんですけど、予算の関係で難しいと思うんですがリターンとかがあれば、保護者の方も回収率って、きっと上がるんじゃないのかなって言うのは少し書く人目線で、ちょっと思ったところでありました。</p> <p>あと、資料4の最後の望むところっていうところで、子どもが安価でまたは無償で食事を提供してもらえって多分子ども食堂とかのことかなって思うんですけども。</p> <p>そういうのなんか結構飲食店さん、農家さんと協力してもらって、いろいろ提供してもらってたりとかっていうのを、インスタとかで見たりとかしてるんですけど、そういうのもやっぱり何だろう取り急ぎ、いっぱいこういういろんな飲食店さんいっぱいあるのでそういうところがもっと、助けたい人と助けて欲しい人をつないでもらえって言うのを何か市の方とかでやってもらえって言うのはすごくいいことなんじゃないかなと、ちょっとこういうアンケートを見て思った次第でありました。</p>
会長	<p>例えば先ほどもありましたけども、Webで回答すれば、何ポイントがつくとか。</p> <p>それだと数手間もなく、アクセスすればスマホにポイントが出たとかね。</p> <p>登米市内でだけしか使えませんみたいなね。</p> <p>是非、そういう工夫をお願いしたいなと思います。</p>
委員	<p>この策定に係る現課題を把握するために、この質問たくさんあるんだなっていうのを初めて見たときに感じました。</p> <p>これだけ質問があれば、きっと登米市のお子さんがあるご家庭の状況とか、思ってることとか課題とかいろんなことがきっと見えてくるだろうなっていうのが一番に感じました。</p> <p>それで、私は資料2の18ページの子育てに関する悩みや不安についてのところの下の悩めることはどういうことですかというたくさん項目があってここがすごくいいなと思いました。</p> <p>なかなか、こういうの何て言うのかなって表現しづらいときにこのようにたくさんにこう書いてある方が、丸付けする親としては、そうそうこれもそうこれもこれもって言うふうに思い出</p>

委員	<p>して丸をつけやすくなっているの、こういうふうなところがたくさんあったのがすごくよかったかなと思います。</p> <p>あと、きっとこれを書くことによってその登米市の子育てに反映されるよってことをアピールしていただいてぜひ回収率が高くなることを願っています。</p> <p>さっき言われた通りアンケートの回答方法ですかね。</p> <p>やっぱ、仕事終わって帰ってきて、さあやるかっていったら、多分手つけるのなかなか大変だと思うので、今の若いお父さんお母さんたちっていうのはやっぱり、スマホだったりパソコンだったりっていうのが、常に触ってる状態なので、常に開けて、すぐ簡単に指1つでできるような回答方法がいいのかなと思います。</p> <p>あとですね今メディアとかでも結構出てますけども、兵庫県の明石市の市長さんですか。子どもが潤うと地域も潤ってくるっていうことなので、ぜひ明石市長さん、明石市の市のマネですかねいいところはマネしてもらって、それも予算ありますけども、だんだん登米市の方に来てもらうような、何ていうんすかね魅力あるまちづくりをしていけたらなと思いますので、登米市の職員の皆さん事務局の方々とも一緒になって登米市を盛り上げたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>では、この調査、今のような形でですね、調整していただいて、調査は実施に向けて進むということで決定してよろしいでしょうか。</p> <p>拍手をお願いいたします。</p>
委員	<p>異議なし（拍手）</p>
会長	<p>今ご意見を極力踏まえていただいて、時間の問題もありますので、よろしく願いしたいなと思います。それから、前回の調査との比較もあるので、大幅に変えることも難しいということもありますので、よろしく願いしたいなと思います。</p> <p>それではですね、議事については以上となります。</p>
事務局	<p>お話いただいたようにですね設問的には前回との比較もございまして、その設問自体を大幅に変えるってなかなか難しい部分もございすけれども、もう少しわかりやすくといひますか、そういったことにつきましては、少しちょっと検討していきたいと思ひます。</p> <p>本当に貴重なご意見いろいろありがとうございます。</p> <p>それではですね、閉会に移りますけれどもここで、片岡副会長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。</p>
副会長	<p>【閉会の挨拶】</p> <p style="text-align: right;">【閉会】</p>